

Ⅱ 事業の概要

1 食肉衛生検査状況

(1) と畜検査頭数

平成19年度における総検査頭数は71,081頭で、畜種別内訳は、牛は7,510頭(和牛2,103頭、乳牛5,407頭)、豚は63,547頭、大とく14頭、めん羊1頭、山羊9頭であった。年間の1日当たりの平均検査頭数は、牛31頭、豚263頭であった。

なお、10月10、11日の両日に当地で開催された第9回全国和牛能力共進会(肉牛の部)に出展された全国の和牛179頭のと畜検査を行った。

(2) 検査結果に基づく措置

検査の結果、処分した総頭数は34,956頭(総検査頭数の49.2%)であった。

(ア) 禁止

牛2頭(膿毒症1頭、尿毒症1頭)及び豚2頭(膿毒症)をと殺禁止した。

(イ) 全部廃棄

全部廃棄頭数は228頭で、畜種別では牛164頭、豚64頭であった。原因別では、豚丹毒2頭、膿毒症41頭、敗血症43頭、尿毒症13頭、高度の黄疸2頭、高度の水腫93頭、牛白血病18頭、白血病1頭、炎症又は炎症産物による汚染2頭、全身性の筋肉変性10頭であった。

(ウ) 一部廃棄

筋肉、内臓の一部を廃棄したものは、34,724頭で、畜種別では牛5,355頭(処分率71.3%)、とく13頭(92.8%)、豚29,356頭(46.2%)であった。

(3) 病畜検査

生体検査時に起立不能、歩行困難等の異常があり何らかの疾病が疑われた864頭の病畜を検査したが、畜種別では、牛841頭(97.4%)、とく7頭(0.8%)、豚16頭(1.9%)であった。

検査の結果全部廃棄処分したものは153頭(牛151頭、豚2頭)であり、畜種別の全部廃棄率としては牛18.0%、豚12.5%であった。

(4) TSEスクリーニング検査

平成13年10月18日からBSEスクリーニング検査(エライザ法)を開始し、平成17年10月1日からはめん羊・山羊についてもスクリーニング検査を行うこととなった。平成19年度の検査頭数は7,532頭(牛7,508頭、大とく14頭、めん羊1頭、山羊9頭)であり、検査結果は全て陰性であった。

ア 月別と畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく大	豚	めん羊	山羊	開場日数
		和牛	乳牛	計						
4	6,048	173	422	595			5,451	2	20	
5	6,042	156	416	572		3	5,466	1	21	
6	5,732	141	449	590		1	5,140	1	21	
7	5,765	180	432	612		1	5,152		20	
8	5,677	138	471	609		2	5,066		21	
9	5,784	155	474	629		1	5,154		18	
10	6,288	358	459	817		1	5,470		22	
11	6,317	209	543	752		3	5,557	5	21	
12	5,980	171	497	668			5,312		19	
1	5,816	131	367	498		1	5,317		19	
2	5,746	144	428	572		1	5,173		20	
3	5,886	147	449	596			5,289	1	20	
19年度合計	71,081	2,103	5,407	7,510	0	14	63,547	1	9	242
18年度合計	77,126	1,905	5,633	7,538	0	14	69,554	2	18	242
前年度比(%)	92.2%	110.4%	96.0%	99.6%	-	100.0%	91.4%	50.0%	50.0%	

イ 月別病畜検査頭数

月	総頭数	牛			馬	とく大	豚	めん羊	山羊
		和牛	乳牛	計					
4	70	5	64	69			1		
5	55	4	49	53		1	1		
6	72	7	63	70		1	1		
7	72	4	64	68			4		
8	81	5	73	78		1	2		
9	86	4	80	84			2		
10	87	11	74	85			2		
11	87	9	74	83		2	2		
12	66	6	60	66					
1	51	7	43	50		1			
2	70	4	64	68		1	1		
3	67	4	63	67					
19年度合計	864	70	771	841	0	7	16	0	0
18年度合計	929	42	858	900	0	5	24	0	0

ウ 産地別搬入頭数

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
鳥取市	865			1,870		
岩美町	18			389		
八頭町	344					
若桜町	88					
智頭町	15					
(東部地区計)	1,330	0	0	2,259	0	0
倉吉市	619		2	3,982		
湯梨浜町						
三朝町	76		2			
北栄町	423		4	5,945		2
琴浦町	3,359		4	9,409		
(中部地区計)	4,477	0	12	19,336		2
米子市	30			75	1	1
境港市				4		6
南部町	35			229		
伯耆町	63			8		
日吉津村	1					
大山町	1,050		1	40,433		
日南町	175		1	1,201		
日野町	8					
江府町	23					
(西部地区計)	1,385	0	2	41,950	1	7
鳥取県合計	7,192	0	14	63,545	1	9

産地	牛	馬	とく	豚	めん羊	山羊
北海道	8					
青森県	5					
岩手県	8					
宮城県	8					
秋田県	5					
山形県	2					
福島県	8					
茨城県	2					
栃木県	2					
群馬県	2					
新潟県	2					
富山県	2					
石川県	2					
長野県	5					
岐阜県	8					
静岡県	2					
愛知県	2					
三重県	2					
滋賀県	2					
京都府	2					
兵庫県	9					
和歌山県	3					
島根県	52			2		
岡山県	68					
広島県	38					
山口県	5					
徳島県	2					
香川県	2					
愛媛県	6					
高知県	6					
佐賀県	2					
長崎県	8					
熊本県	4					
大分県	8					
宮崎県	8					
鹿児島県	13					
沖縄県	5					
県外合計	318			2		
総計	7,510	0	14	63,547	1	9

才 病類別一部廃棄頭数

区分	疾 病 名	牛			とく	豚
		和牛	乳牛	計		
呼吸器系	肺炎 (SEP様)					9,297
	〃 (ヘモフィルス様)					495
	〃 (その他型)	84	255	399	3	64
	肺膿瘍					256
	胸膜炎	304	1,171	1,475	3	10,080
	小 計	388	1,426	1,814	6	20,192
循環器系	心外膜炎	15	209	224		3,459
	心筋炎	1	17	18	1	
	小 計	16	226	242	1	3,459
消化器系	胃炎	97	304	401	2	5
	胃潰瘍	1	3	4		
	腸炎	121	540	661	3	5,959
	腸間膜水腫	2	20	22		22
	腸間膜脂肪壊死	199	23	222		
	腸結節虫	5	118	123		
	腸間膜抗酸菌症					133
	腸気泡症					9
	肝炎 (膿瘍型)	67	261	328	2	
	〃 (鋸屑肝型)	544	1,177	1,721		
	〃 (胆管炎型)	63	62	125		
	〃 (その他型)	82	192	274	2	935
	肝包膜炎	69	281	350		4,505
	退色肝	49	356	405	1	4,715
	肝硬変	2	3	5		1
	肝富脈斑	65	155	220		
	肝蛭症	15	2	17		
	寄生肝					1,571
	腹膜炎	8	54	62	1	349
小 計	1,389	3,551	4,940	11	18,204	
泌尿・生殖器系	腎炎	142	403	545	1	765
	膀胱炎	21	90	111	2	16
	子宮内膜炎	33	158	191		13
	乳房炎		191	191		
	小 計	196	842	1,038	3	794
運動器系	放線菌症	1	2	3		
	膿瘍	23	80	103	2	1,706
	関節炎	16	237	253	1	715
	骨折	5	20	25	2	18
	脱臼	9	56	65		1
	筋肉変性					63
	水腫	43	197	240	1	268
	筋肉出血 (打撲、褥瘡)	214	859	1,073	6	1,029
	小 計	311	1,451	1,762	12	3,800
炎症による内臓全廃						539
腫瘍、黄疸						3
合 計		2,300	7,496	9,796	33	46,991
廃棄実頭数		1,451	3,904	5,355	13	29,356

カ 病畜疾病別検査頭数

病名	畜種	牛			とく	豚	合計
		和牛	乳牛	計			
全 部 廃 棄	膿毒症		10	10			10
	敗血症		19	19			19
	尿毒症	4	4	8			8
	高度の黄疸		4	4			4
	高度の水腫	9	82	91			91
	豚丹毒						
	白血病	3	14	17			17
	変性・萎縮、その他	1	1	2		2	4
	小計	17	134	151		2	153
	吸 循 環 器 系 呼 吸	心外膜炎		2	2		
肺炎		1	15	16	1	1	18
肺膿瘍							
胸膜炎			1	1			1
小計	1	18	19	1	1	21	
消 化 器 系	鼓脹症		7	7	1		8
	弛緩症	1		1			1
	四胃変位	3	79	82			82
	創傷性胃炎		4	4			4
	胃炎		10	10			10
	腸炎	3	14	17		1	18
	腸間膜脂肪壊死	10	1	11			11
	腹膜炎	2	16	18	1		19
	肝炎	2	8	10			10
	肝膿瘍		1	1			1
	胆管炎						
	肝硬変						
	肝蛭症	2		2			2
	小計	23	140	163	2	1	166
泌 尿 器 系 生 殖 器 系	腎炎	1	4	5		1	6
	膀胱炎		2	2			2
	尿石症	1	5	6	1		7
	臍ヘルニア						
	子宮蓄膿症						
	子宮内膜炎		3	3			3
	子宮捻転						
	子宮脱・膣脱	1		1			1
	脱肛						
	乳房炎		110	110			110
難産	1	2	3			3	
小計	4	126	130	1	1	132	
運 動 器 系	骨折	3	11	14	2		16
	関節炎	9	179	188		3	191
	脱臼	7	49	56		1	57
	骨軟症						
	膿瘍		3	3	1		4
	筋間出血		2	2			2
	筋間水腫		1	1			1
	蹄病		16	16			16
	打撲						
	フレグモーネ		1	1			1
小計	19	262	281	3	4	288	
そ の 他	放線菌病		2	2			2
	熱射病		4	4			4
	産前後起立不能	3	46	49			49
	原因不明起立不能	1	28	29		6	35
	腫瘍						
	その他	2	11	13		1	14
小計	6	91	97		7	104	
合計	70	771	841	7	16	864	

(5) 試験室内検査実施状況

ア 行政検査（精密検査）

精密検査（と畜検査に係る検査）の実施頭数は572頭で、検査延件数は7,443件であった。

イ 受託検査

栃鳥取県食肉センターから73件の委託を受けて178件の細菌検査を実施した。また、東部総合事務所から1件の委託を受けて41件の理化学検査を実施した。

ウ 調査研究

と畜場内で採材した78頭の病理標本を作製し、また、食品衛生月間に器具や手指のふき取り検査を行う等、324件の検査を実施した。

エ 伝達性海綿状脳症（TSE）スクリーニング検査状況

7,532頭（牛7,522頭、めん羊1頭、山羊9頭）全頭につきTSEスクリーニング検査をおこなったが、その全てが陰性であった。

試験検査の状況

(ア) 行政検査（と畜検査に係る検査）

畜種	検査区分	検査頭数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
牛		339	282	3345	198	64	3,889
とく		1				2	2
豚		232	347	3170	31	4	3,552
合計		572	629	6,515	229	70	7,443
平成18年度		342	634	3,287	169	41	4,131

(イ) 受託検査

項目	検査区分	受託件数	顕微鏡検査	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
ふきとり検査	牛	24		59			59
	豚	49		119			119
肉種鑑別		1				41	41
合計		74	0	178	0	41	219
平成18年度		76	0	152	0	0	152

(ウ) 調査研究

項目	検査区分	検査頭数	検体数	微生物検査	病理組織検査	理化学検査	検査延件数
一般病理検査	牛	58	87		146		146
	豚	20	30		58		58
食品衛生月間ふきとり検査			20	120			120
合計		78	137	120	204		324
平成18年度		9	43	120	28	0	148

(エ) T S Eスクリーニング検査状況

月		4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
分類	ア 生後24ヶ月齢以上の牛のうち、生体検査において運動障害、知覚障害、反射又は意識障害等の神経障害が疑われるもの	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	イ 生後30ヶ月齢以上の牛	165	142	154	178	180	169	196	215	160	164	153	183	2,059
	ウ その他(ア及びイ以外の牛)	430	433	437	435	431	461	621	540	507	335	420	413	5,463
	エ めん羊、山羊	2	1	1	0	0	0	0	5	0	0	0	1	10
	計	597	576	592	613	611	630	817	760	667	499	573	597	7,532
	陽性	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

2 と畜場等の衛生管理指導

(1) 枝肉等の衛生度把握

と畜場の衛生状態を把握するため、枝肉及び器具類の拭き取り検査を実施し、検査結果に基づき衛生指導を行った。

拭き取り検査結果

区分	項目	実施回数	件数	成績	<10	10 ^{1~2}	10 ^{2~3}	10 ^{3~4}	10 ^{4~5}
枝肉	O157	30	52	陰性51 陽性1	-	-	-	-	-
	大腸菌群数 ($\frac{1}{1\text{cm}}$)	137	743		730	11	2		
	一般細菌数 ($\frac{1}{1\text{cm}}$)	137	741		184	298	199	47	13
食肉	大腸菌群数 ($\frac{1}{1\text{cm}}$)	1	6		6				
	一般細菌数 ($\frac{1}{1\text{cm}}$)	1	6			4	2		
器具類	大腸菌群数 ($\frac{1}{1\text{cm}}$)	1	8		8				
	一般細菌数 ($\frac{1}{1\text{cm}}$)	1	8		4	2	1	1	

(2) 食品衛生月間

食品衛生月間(8/1~8/31)に合わせて枝肉等の拭き取り検査を実施し、家畜の出荷者に対しては清潔な生体搬入を、食肉業者には衛生的な食肉の取扱いを呼びかけるポラを配布した。さらに垂れ幕及び立て看板による衛生意識の高揚を図った。

(3) 従事者の衛生教育

食肉処理従事者全員を対象に、7月11日(水)及び8月30日(木)にと畜場の衛生管理及び衛生的な畜処理について衛生講習をおこなった。

(4) 施設の監視指導

と畜場に併設する食肉処理業、食品の冷凍冷蔵業等の食品営業許可施設を毎月1回衛生監視し、不適事項については改善するよう指導した。

3 と畜検査データフィードバック事業

(1) 生産者等へのフィードバック

当検査所では、食肉の安全性確保対策の一環として、平成6年4月から検査データ・フィードバック事業を継続している。

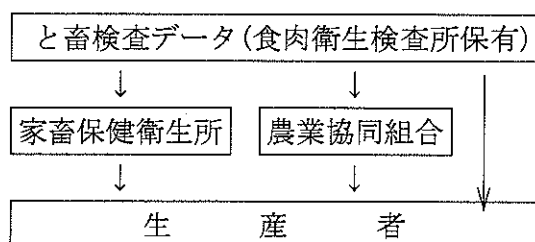
情報提供の方法としては、家畜保健衛生所にはパソコンで疾病データを送信し、生産者及び農協には1ヶ月ごとに疾病データを郵送した。また、年1回、疾病別に分析したデータを送付した。

また、家畜保健所と合同で、豚を搬出している農家の豚舎を視察し、現場で直接要望を聞いて必要な情報を提供した。

(2) 臨床獣医師へのフィードバック

臨床獣医師からの問い合わせが71件あった。

と畜検査データ還元フロー



ルート別還元数

区 分	牛	豚
家畜保健衛生所	3	3
農業協同組合	0	1
生産者	12	15

4 検体採取等の協力

依 頼 者	検 査 目 的	検 体
(国) 鳥取大学農学部獣医学科	受精卵移植に関する研究	豚および牛の卵巣
	牛の蹄病に関する研究	牛の後肢蹄関節
(株) 西日本JA畜産名和農場	肺病変の確認検査	豚の肺
鳥取県立倉吉農業高等学校	実習	牛の子宮および卵巣
鳥取県中小家畜試験場	豚の受精卵移植に関する研究	豚の卵巣
鳥取県福祉保健部健康対策課	日本脳炎、感染症流行予測調査	豚の血液
(独) 家畜改良センター鳥取牧場	牛の体外受精試験	牛の卵巣
鳥取県畜産試験場	和牛肉脂肪酸組成分析	牛の脂肪および筋肉
	牛の受精卵の凍結保存及び融解技術の開発	牛の卵巣
(社) 家畜改良事業団	牛の体外受精の生産	牛の卵巣
鳥取県倉吉家畜保健衛生所	家畜人工授精師の講習会	牛の子宮および卵巣

5 調査、研究

牛と畜解体ライン及び病畜棟において、より衛生的な処理が行われるよう、枝肉等の細菌汚染状況について調査し、解体ラインの各工程について指導の一助となるよう努めた。

6 食肉衛生検査所PR事業

BSE発生以来と畜検査等に関心を持ち来所する人が増加し、視察・研修を受け入れるとともに、会議室におけるパワーポイントを活用した事業概要PR等を積極的におこなった。

来訪等団体名簿及び実施講習会

月 日	来 訪 団 体 名	人 数	備 考
6月11日(月)	鳥取大学医学部付属病院	4名	医師卒後臨床研修
8月 9日(木)	生活環境部関連新規採用職員	20名	視察研修
8月28日(木)	福米東公民館ふれあい学級講座	45名	食肉衛生(講師派遣)
9月12日(水)	鳥取大学医学部付属病院	3名	医師卒後臨床研修
10月 4日(木)	鳥取大学医学部付属病院	1名	医師卒後臨床研修
10月26日(木)	鳥取大学農学部獣医学科5年次学生	39名	公衆衛生学実習
11月 9日(木)	鳥取大学医学部付属病院	2名	医師卒後臨床研修
11月20日(火)	倉吉農業高等学校生徒及び担当教諭	18名	食農教育支援事業
12月12日(水)	鳥取大学医学部付属病院	2名	医師卒後臨床研修
1月11日(金)	鳥取県畜産技術業績発表会	95名	家畜疾病(講師派遣)
3月27日(木)	佐世保市食肉衛生検査所	2名	視察研修
合 計		231名	